

寺報

No.704

令和8年4月

蓮華寺
發行

御聖訓

夫れそ小兒しょうにに灸治やいとを加くわふれば、必かならずず父ふ母ぼを怨うらむ。

「開目鈔」

夜桜



(解説)

最近あまり使わない言葉ですが、我々が何か問題を起こしたり、悪い事をして、親から叱られた時「また、お灸を据えられた」といいます。

お灸はモグサというヨモギの葉を乾燥したもの、痛い所のツボにおき、線香で火をつけて燃やし、その熱で直す療法ですが、それが余りにも熱過ぎる為に、これが好きという人は余りないでしょう。

今は品質が改良されて、火も使わず痛い所に貼るだけのようですが、昔は大変で親をも「怨む」ほどの熱さだったのでしょう。

しかし、お灸は薬そのもので痛い所を直すのではなく、人間が本来持っている自然治癒力を高めようとするものなのです。

同じく、我々生きとし生ける者には必ず仏になる種である『仏性』(ぶつしよう)が本来備わっているのですが、ほとんどの人はその事に気付かず、一生をむなしく終えてしまいます。

そこで、日蓮大聖人は「我々が法華経・お題目を唱える事によって、自然に悪業を取り除かれ、心の中に必ず仏性が現れる」と教えられました。

どうか、この大聖人の教えを実行する事で、皆様も自らの仏性に磨きをかけていつて欲しいものです。

え たん こう ぞ しょう 宗祖御降誕会

四月十三日(月)

午後一時より

場所…大本堂



*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。

*皆さんでお祝い致しましょう。

*お供物も受け付けています。

『鯛の浦』

日蓮大聖人は鎌倉時代の貞応元年(一二二二)二月十六日、黒潮洗う安房の国(千葉県鴨川市)の小湊という小さな漁村にお生まれになりました。

この日は、不思議にもお釈迦様がお亡くなりになりました二月十六日の翌日に当ります。

まさに、お釈迦様の最高の教え『法華経』を広める為に、生まれ変わったといっても過言ではありません。

後に生家に建てられましたお寺は『誕生寺』と名付けられ、人々の信仰の場として繁栄しました。

しかし、この場所も度重なる地震と津波により、本堂や多くの宝物を流失してしまいました。

その後、江戸時代中頃に『水戸光圀』(黄門様)の援助等もあり、現在の地に再興されたといわれます。

ですから、本来の大聖人のお生まれになった所は、今では海中に没してしまいましたが、しかしその他は『鯛の浦』と呼ばれ、聖地となつて残っています。

『鯛の浦』は大聖人が誕生された時、それを喜んだ鯛が群れ集まったという伝説がある所から、別名『妙の浦』ともいわれています。

ここの鯛は大聖人の生まれ変わりとして、誰も捕獲する事は禁じられていて、今までにこの地が食糧難になつた時でも、地元の人達は決して捕る事はしなかつたそうです。
その為、今でも日本有数の天然鯛の群生地として有名になり、信者以外にも多くの観光客も訪れています。

【十三日のお勤め】 に参拝しましょう

『十三日のお勤め』は日蓮大聖人の大事な「月ご命日」の日です。
ですから、檀信徒の皆様にとりましては、とても大切な日なのです。
どうか、皆様も日蓮大聖人へのご報恩を忘れずに、参拝し、一緒に法華経・お題目を唱えて下さい。
お勤めの内容は事務所前のプリントに書いてありますので、どうぞご利用下さい。

◎毎月十三日午後一時より

大切なお題目受持

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられます。

◎最近では家庭の事情から、家族が仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を安置し、仏壇の代わりにお寺に参拝する方達も増えてきています。

◎家族が仕事の関係で、誰も地元に住めない為に、『位牌壇』に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りをする方も増えてきています。

◎仏様のご命日に当る日に、旅行などで不在の時や高齢で家庭で追膳が作れない時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。(維持費は変わります)三席から特席に上がる事も可能です。

蓮華寺 TEL七七六一五八四〇

お題目と共に生きた人
《製菓百年その礎を築いた》

『塩野吉兵衛』 (一七七七〜一八三〇)

大阪の道修町は江戸時代、八代將軍「徳川吉宗」が享保七年(一七二二)に此地に百二十四軒の菓種商の営業を公認した為、菓の町として栄えてきました。初代の『塩野吉兵衛』は農家の三男として生れ、寛政元年(一七八九)十二歳で道修町の古いのれんの「塩野屋藤兵衛」家に奉公に出ました。一生懸命精進した結果、三十歳でのれん分けを許されやがて妻を迎え、同じ道修町の中にその分家を持つてどンドン繁栄させていったのでした。しかし、陰日向なく仕事に精励した結果、惜しまれつつ五十三歳で亡くなられました。現在、この道修町から生れた【武田薬品】【田辺製菓】と共に三大製菓会社の一つとして有名な(シオノギ)のこの方が開祖となります。その後、二代目吉兵衛が努力した結果、取引高も段々多くなっていきました。そして、三代目が明治十一年(一八七八)に一念発起

し、新たに(塩野義三郎商店)として菓種問屋を創業し、これが今日の【塩野義製菓】に至っています。この初代『塩野吉兵衛』を初め、『塩野一家』また製菓会社のもう一人の功労者であります「沢田久七」の一家も代々に渡り、法華経の信仰者であり、法華経の給仕第一の精神の基、先祖代々の仏様の命日には欠かさずお仏膳を供えて、お題目を唱え続けているそうです。

新人紹介

今般、蓮華寺では四月一日より新僧侶が二名勤める事になりました。一人は当山徒弟

『角田堯現』 上人

更に同じ大学の同級生であります、静岡県沼津市【蓮華寺】徒弟

『西埜永真』 上人

の二人です。どうか、檀信徒の皆様よろしくお願い致します。詳細は来月号で自己紹介をしてもらいます。

檀信徒研修会のお知らせ

四月二十五日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂【イス席です】

持参品：聖典【お経本】(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

『靈神符』を持ちましょう!

最近の思いもよらぬ事件・災難・事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。皆様も素直に毎月一日のお守りを持って、身体を守つてもらいましょう。宗旨宗派は問いません。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文	「謹みて礼拝し奉る」	【4ページ】
開経偈	「無上甚深微妙の法」	【6ページ】
読経	「方便品 第二」	【9ページ】
	「如来寿量品第十六」	【13ページ】
	「如来神力品第二十一」	【19ページ】
	「観世音菩薩 普門品第二十五」	【23ページ】
	「陀羅尼品第二十六」	【30ページ】
	「普賢菩薩 勸発品第二十八」	【35ページ】
懺悔文	「夫れ懺悔は治病の」	【47ページ】
御妙判	「祈 禱 鈔」	【67ページ】
御題目	「南無妙法蓮華経」	【72ページ】
宝塔品偈	「此 経 難 持」	【72ページ】
回向文	(導師が唱えます)	
四 誓 願	「誓つて南無妙法蓮」	【76ページ】
三 整 唱	「なむめうほうれん」	【77ページ】
弾指合掌		

以上

【盛運祈願会】に参拝し

お守りを戴きましよう！

我々は先祖や過去の因縁により、知らず知らずの間に悪業の種をまき、思いも知れない事故や事件に見舞われる時があります。

このような状況から常に我々の身体を守ってくれますのが『俱生靈神符』(毎月のお守り)であり、更にその月の運勢が良くなりますようにと、祈念する行事を【盛運祈願会】といっています。

蓮華寺檀信徒の皆様は、この為に毎月(ついでに)の午後一時のお勤めに参拝し、【懺悔文】を読み、自らの罪を懺悔滅罪し、一心にその月の盛運を祈願し、更により強いご守護が戴けますようにと祈り、お守りを交換して頂きます。

しかし、中にはお守りのみを求め、【盛運祈願会】に参拝しない方もいます。

我々は常にご本尊様・日蓮大聖人・諸天善神へのご報恩感謝を忘れてはいけません。

どうか皆様は【盛運祈願会】には必ず参拝し、法華經・お題目を唱えて、そして自らの悪業の因縁を立ち切るようにしていきましょう。

『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。(☎七七六一五八四〇)まで
【一件・・・三千元となります】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついでに「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』募集！

当山で『鬼子母神大祭』『御会式』『お正月』に下げます『提灯』(トローラー)を募集しています。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

- ◎普通塔婆 (二千五百円)
- ◎普通幅広塔婆 (三千円)
- ◎五十回忌用塔婆 (三千五百円)
- ◎五十回忌幅広塔婆 (四千元)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申し付け下さい。

*お追膳

- ◎一膳(六百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

- ◎大・六千円 ◎小・五千五百円【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

- ◎極小の四千五百円から各種サイズがあります。
大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符(オブラート・一枚三百円)

*柵入大黒天(分割可能)

- ◎一升柵(手彫・五万円)(機械彫・三万円)

*五合柵(手彫・四万円)(注)【魂入・御幣代も含む】

*お経本

- ◎聖典(千二百円)

・ついでにたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会
◎法華經要品の訓読【日本語読み】(二千円)

・十三日のお勤め用

*お経のテープとCD

- ◎聖典用のカセット(六百円)・CD(千円)
- ◎十三日用のカセット(六百円)・CD(千円)

*地鎮祭用の経石

- ◎地鎮祭で土地に埋める経石五個(五千元)

*起工式(柱立て)用の棟札

- ◎大黒柱に掛ける棟札(三千元)

*朝光水(身延山の目薬・八百円)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等
色々取り揃えていますのでお申し付け下さい。

四月の行事

一 日(水) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【靈神符】の交換の日です。
- ・檀信徒は必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えお守りを交換しましょう。
- ・聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(月) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(月) 宗祖御降誕会 午後一時より

①日蓮大聖人のお誕生日の日です。

二十日(月) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

二十五日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

②どなたでもご自由に参加出来ます。

☆奉仕のお知らせ

七 日(火) 倉庫整理と境内地の大清掃 教宣部男女・・午前十時より

*今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

◎教宣部長・杉淵昌三

☆行事のご案内

*盛運祈願会

- ・毎月のお守り(靈神符)を必ず着体しましょう。
- ・一日午後一時からの参拝に参拝しましょう。

*十三日のお勤め

- ・日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・午後一時からの参拝に参拝して下さい。

*朝のお勤め

- ・毎朝、午前六時半より(一時間十分)
- ・聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

① 剣守札 (星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていますので、どうぞお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円